

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話<0586>24・1931 ・491-0858



未来を描こう、笑顔でつなごう

URL:<http://rc138.org> E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2023年5月11日 第3547回例会

会長 関戸 徹 会長エレクト 足立 誠
副会長 青山 佳裕 副幹事 富田 隆裕
幹事 吉田 真人 会報委員長 熊田 慎二

吉田真人君(5月28日) 渡邊 肇君(5月29日)

プログラム

則竹 伸也君

(次年度ガバナー補佐)

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

5月度のプログラム

4日 休会 みどりの日
11日 則竹伸也君 次年度ガバナー補佐
18日 インシエーションスピーチ 牛田 滋君 服部良太郎
25日 青少年交換受入学生スピーチ カヤさん

会員誕生日おめでとう

枡倉 勲君(5月 1日) 青山佳裕君(5月 7日)
内藤幹夫君(5月14日) 川松久芳君(5月15日)
安藤和人君(5月18日) 辰 守弘君(5月21日)
吉田真人君(5月25日) 西岡隆夫君(5月27日)
速水英一君(5月28日) 江崎正和君(5月29日)

会員配偶者誕生日おめでとう

森 隆彦君夫人 克 江様(5月 4日)
青山佳裕君夫人 和美様(5月 5日)
石本靖朗君夫人 会 未様(5月 8日)
川松保夫君夫人 康 子様(5月13日)
野杵晃充君夫人 香 織様(5月15日)
佐々木久直君夫人 詔 子様(5月21日)
佐々憲一君夫人 みどり様(5月21日)
辰 守弘君夫人 ひで子様(5月24日)
伊藤幸一君夫人 景 子様(5月29日)

結婚記念日おめでとう

墨 芳郎君(5月 5日) 長谷川勝久君(5月 5日)
加藤恭平君(5月 7日) 森 俊夫君(5月 8日)
森島勝美君(5月10日) 鈴木洋志君(5月12日)
足立 誠君(5月13日) 加藤 亘君(5月14日)
森 全光君(5月17日) 服部昌志君(5月20日)
浅野 一君(5月21日) 辰 守弘君(5月21日)
内藤幹夫君(5月21日) 土川保夫君(5月22日)
豊島半七君(5月26日) 山上哲司君(5月26日)
松原直次君(5月28日) 枡倉 勲君(5月28日)

次回の予定

5月18日 インシエーションスピーチ
牛田 滋君 服部良太郎

新会員紹介



氏名 森 大介 君
職業分類 不動産
勤務先 (株)八丁商会
役職名 取締役
生年月日 昭和54年9月3日
紹介者 豊島半七君



氏名 永井 一人 君
職業分類 電信電話事業
勤務先 西日本電信電話(株)
役職名 スマートビジネス営業部門長
生年月日 昭和46年4月13日
紹介者 豊島半七君



氏名 中島 崇介 君
職業分類 商業銀行
勤務先 (株)三菱UFJ銀行
役職名 一宮支店長
生年月日 昭和48年2月6日
紹介者 豊島半七君



氏名 山口 雄史 君
職業分類 証券業
勤務先 東海東京証券(株)
役職名 一宮支店長
生年月日 昭和57年1月21日
紹介者 豊島半七君



氏名 津田 真樹子 君
職業分類 生命保険
勤務先 第一生命保険(株)
役職名 名古屋西支社長
生年月日 昭和48年12月1日
紹介者 森 克彦君

第3546回例会の記録 2023年4月27日(木)

会長挨拶

関戸 徹

すぐそこまでの用事を済ませるとき皆さんは、車を使いますか？それとも歩きでいきますか？「私はエコのために歩きで行きます。」という方も多いでしょう。しかし、現実には、そんなに簡単ではありません。標準体重の大人が2.5km歩いて消費したカロリーをコップ一杯の牛乳で補充すると、その牛乳の生産にかかわる温室効果ガスの排出量は、同じ距離を標準的な車で走って排出される温暖化ガスの量とだいたい同じだということです。2人3人で車に乗って同じ距離を移動すれば車の方

が環境にやさしいそうです。その仕組みはというと、実は食品に関わる温室効果ガス排出の大半は生産段階で発生している。中でも牛肉と乳製品は生産の段階で多くの温室効果ガスを排出する。牛肉を食べるといことは、ウシが育つ過程で牛が食べた牧草を間接的に食べているのと同じである。肉牛が、食肉として集荷されるまでに約16か月を要する。出荷時の肉牛の体重は300キログラム。その過程で3トンのえさを消費する。300グラムのビーフステーキを食べるとは、間接的に牛が摂った3キロのえさを食べたことになり、さらに牛が育つ過程で排出した温室効果ガス、えさの生産に要したエネルギーなど生産過程で排出された温室効果ガスにかかわっていることになる。我々は、つい見えている部分だけで様々な判断をしがちであるが、物事は奥深くまで、裏側まで調べないと本当に分かったことにはならないのだ。

委員会報告

ニコボックス

三嶋啓一郎

☆ 森 克彦君

この度名古屋市内のマンションに引っ越ししました。新居は伏見通に面し御園座の少し南に位置します。年齢を重ね家内との二人暮らしには現在の屋敷・庭を維持管理するのが負担になってきたので、終活の一環として思い切ってマンション暮らしを選択しました。引き続き一宮ロータリークラブにはお世話になりクラブ・ライフを楽しみたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

☆ 渡辺一弘君

一昨日行われました某ゴルフコンペで優勝しました。初参加の優勝で大変恐縮しております。同伴していただきました光崎さんありがとうございました。

☆ 土川正夫君

本日はイニシエーションスピーチを務めさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

☆ 墨 大輔君

本日はイニシエーションスピーチを務めさせていただきます。どうぞ宜しくお願いします。

☆ 佐々木久直君

4月20日の故佐々木光男のお別れの会には沢山の会員の方に御参加いただき誠にありがとうございました。今後とも変わらぬご指導いただきますようお願い申し上げます。

☆ 関戸 徹君 吉田真人君

本日、土川正夫さんと墨大輔さんにイニシエーションスピーチをして頂く喜びです。

出席報告

現在の会員数 111名
 本日の出席数 67名
 前々回の出席率 100%

***** プログラム *****

イニシエーションスピーチ

土川正夫君

テーマ「自己紹介」



昭和48年生れで50歳になりました。私の叔父で会員の保夫さんの子息ですかとよくきかれますがその兄がいてその子です。地元の向山小学校を卒業し滝学園を受験したら合格できましたが、入学後初めて試験を受けたらひどい成績が戻り、今日は調子が悪かったのではと思いしましたが1学期が終わる頃には、勉強はできないと自覚しました。やる気をだせばよいのに、低空飛行で明るさが取り柄の高校時代でした。そんな私も昨年卒業30年後担当する同窓会を学年代表して務めました。当日は同校卒業の沢山の皆様にお越し

頂き改めてお礼申し上げます。

入会申込書、趣味は読書としました。先日神田元知事の卓話の本も早速購入しました。勧められてよいと思うと読みますのでご推薦ください。学生時代は山に登っていましたが、仲間たちと楽しい紀行文が多い椎名誠さんの本を読み、影響を受け社会人では、仕事はしてないけど周りとお酒を楽しく飲むことはよくできているなど上司から褒められるような20代でした。今でも皆さんと楽しいお酒の機会は大好きです。

エッソ石油で勤務の後、土川油店に入社しました。歴史ある会社とお尋ね頂きますが、会社設立は1951年です。創業は江戸時代で菜種油から灯りを取るための精油を行い、明治に灯油の時代へと変わり、戦後ガソリンスタンドを中心とした企業となりました。

一宮に戻り皆様にご配慮頂き、多くの団体に入会し、身に余る役職も経験させて頂きました。当クラブにはそんな機会を頂いた先輩方が沢山在籍しています。この場を借り良い20年を過ごせたと感謝申し上げます。また、弊社は沢山の地域の皆様にご利用して頂き、本日があるということにもお礼申し上げます。現在エネルギー産業は転換期ですが将来もそんなお付き合いできる会社でありたいと思います。その為に、まずは私自身が皆様に信頼して頂ける人間とならねばと考えています。どうぞよろしくをお願いします。

墨 大輔君

テーマ「私と会社の歴史」



昨年7月に入会させていただきました艶金興業株式会社の墨大輔と申します。弊社は明治22年、墨宇吉が艶屋を創業し、宇吉の幼名が金兵衛であったことから「艶屋の金兵衛」略して「艶金」と名付けられました。艶屋とは、織物を石の台の上に乗せ木槌でたたいて柔らかくし艶を出す織物の仕上げ工程のことを言います。明治41年、それまで手作業で行っていた艶屋の仕事、取引先の協力によってこの地方では初めて機械を導入し整理工場として開業、大正時代には毛織物の加工をこの地方で初めて確立しました。

織物の染色整理加工には、洗ったり染めたり大量の水を使います。そしてその水の成分が微妙に仕上がりの状態に作用します。木曾川の水の硬度は特に低い軟水で、産業用途として使えるだけの水量があります。繊維の原料から製品ができるまでは分業によって製品がつくられています。バブル崩壊後のデフレ経済により消費者は安価な衣料品を求めようになり、中国をはじめとする海外に生産拠点が移転していきま

した。私は昭和47年に旧尾西市に生まれ51歳になります。弊社に入社したのは28歳の時でした。入社してから約2年間は工場現場作業を経験し、32歳の時に社長に就任しました。国内の繊維生産量は減り続けていたため、弊社も規模を縮小し技術開発と営業に力を入れていくことで、最後に工場を一つでも残す方法はないかと様々なチャレンジをしてきましたが、染色整理加工は大型の機械設備で大量のエネルギーを使う仕事で、多品種少量生産が主流になってから採算が非常に悪い状況が続いていました。平成22年、創業以来121年続けてきた染色整理加工業の操業を停止し、現在は不動産業に事業を変えました。当時のご心配をお掛けしましたが現在も会社が存続していることは、長い歴史の中で関わりのあった皆様方のおかげだと思い、感謝の気持ちを大切にしていこうと思っています。今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。